

指定管理者評価票（令和元度分）

全般的事項

施設名称：瑞穂町精神障害者共同作業所「ころぼっくる」

担当部課係：福祉部 福祉課 障がい者支援係

1 指定管理者の名称	みずほまち精神保健福祉会
2 指定管理の期間	平成28年4月1日から令和3年3月31日まで 5年間
3 指定管理の目的及び求める効果	長期にわたり精神障がい者に対し、社会復帰等の支援活動を行ってきた民間活力及び経験を取り入れることにより、精神障がい者の自立支援を効率的に実施することを目的とする。
4 指定管理の業務内容	1 共同作業所の運営に関すること。 2 施設及び設備の維持管理に関すること。
5 施設の概要	
(1) 施設及びサービスの内容	精神障がい者に対し、必要な指導及び訓練を行い、社会復帰及び自立並びに社会経済活動への参加の促進を図るサービスを提供する。
(2) 規模	敷地面積 952.76㎡ 建築面積 205.82㎡ 構造 木造平屋建
(3) 設備内容	屋内作業所・事務室・面談室・休憩室・食堂・浴室・倉庫・トイレ 屋内作業所・玄関
(4) 設置年月及び経過年数（導入時）	平成17年4月 (導入後14経過)
(5) 建設費用	32,907,000円 (増築によりH23から建築費増)
(6) 大規模改修の経緯と費用	該当なし
(7) 維持補修・改修の予定及び時期	平成22年度 建物南側にテラスを設置 平成23年度 法内事業移行に伴い、建物西側に作業室・だれでもトイレを増築(56.22㎡) 工事費 9,807,000円 平成29年度 非常通報装置設置、防犯カメラ設置
6 指定管理における具体的な目標	
(1) 利用者へのサービス水準の向上目標	ハローワークや職場実習先との連携を強化し、利用者の就労移行及び就労定着を図ることを目標とする。
(2) 運営の効率化に関する目標	利用者の就労支援に関して、関係機関と会議、打合せ等を行うことにより、より効率的な支援方法を考え、運営する。
(3) 施設維持管理費に関する削減目標	事業計画及び予算に基づき、適切な管理を行い、管理費の削減に努める。
(4) その他の目標	職員が障害に関することだけでなく、就労支援全般にわたる研修、講習等を受講することにより、利用者の一般就労定着の支援のレベルを上げていくように努める。
7 モニタリング（利用者の意見把握）の内容	職員がハローワークや企業実習に付き添い等のきめ細やかな支援を受けられることにより、就労への意欲が向上している。

指定管理評価票（令和元年度分） 個別項目・総括

施設の名称： 瑞穂町精神障害者共同作業所「ころぼっくる」

担当部署： 福祉部 福祉課 障がい者支援係

業務評価指標

		前指定末 (H27)	H28	H29	H30	R1	R2
協定書・仕様書で示した事項	生活指導、作業訓練等の社会適応訓練に関する業務	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施	
	施設、整備等の維持管理	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施	
	個人情報の保護と適切な管理	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施	
	管理運営費の削減に努めること	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施	
開館日数等 (条例で示した施設目的の達成度)	条例で示した開館日数	243	243	244	244	243	日
	実開館日数	243	243	243	244	243	日
維持管理状態	受付対応人員（常駐）	1	1	1	1	1	人
	日常清掃	職員と通所者が、床・窓清掃等を実施	職員及び通所者が床・窓清掃等を実施	職員及び通所者が床・窓清掃等を実施	職員及び通所者が床・窓清掃等を実施	職員及び通所者が床・窓清掃等を実施	
職員数の確保及び適切な配置 (※平成24年度分より追加)		就労継続：利用者10人対1人 就労移行：利用者6人対1人	就労継続：利用者10人対1人 就労移行：利用者6人対1人	就労継続：利用者10人対1人 就労移行：利用者6人対1人	就労継続：利用者10人対1人 就労移行：利用者6人対1人	就労継続：利用者10人対1人 就労移行：利用者6人対1人	

インプット指標（行政資源（歳出・人・物）の投入量）

		前指定末 (H27)	H28	H29	H30	R1	R2
指定前の管理経費（町支出）または指定管理料（委託料）		2,665,000	2,665,000	3,265,000	2,665,000	2,665,000	円
指定前の管理経費（町支出以外）または指定管理料以外の支出金額		0	0	0	0	0	円
職員の投入実態		105,000	105,000	105,000	105,000	105,000	円（時間*人/週）
物品の提供実態		216,864	0	30,996	0	0	円
インプット指標合計		2,986,864	2,770,000	3,400,996	2,770,000	2,770,000	
提供物品の名称と数量：	A E D一式		0	AEDバッテリー、AED除細動パッド	0		

アウトプット指標（事業の活動量、活動実績）

		前指定末 (H27)	H28	H29	H30	R1	R2
施設延べ利用者数		1,931	2,518	2,808	2,430	2,922	人/年間
実利用者内訳（町内外利用者別）	町内在住者	14	21	14	17	17	人
	町外在住者	3	4	5	5	4	人
利用料収入		12,334,292	18,129,906	20,591,430	25,141,099	24,103,070	円
その他収入	寄附及び事業助成	660,000	90,000	140,000	0	0	円
	その他収入	1,621,486	1,415,008	2,880,721	3,928,182	10,931,865	円
	授産収入	3,133,882	4,452,782	4,669,266	7,237,561	7,437,180	円
	計	5,415,368	5,957,790	7,689,987	11,165,743	18,369,045	円

業務収支

収入の部		前指定末 (H27)	H28	H29	H30	R1	R2	
指定前の管理経費（町支出）または指定管理料		2,665,000	2,665,000	3,265,000	2,665,000	2,665,000		円
指定前の管理経費（町支出以外）または公的援助		321,864	105,000	135,996	105,000	105,000		円
利用料収入		12,334,292	18,129,906	20,591,430	25,141,099	24,103,070		円
その他収入		5,415,368	5,957,790	7,689,987	11,165,743	18,369,045		円
収入の部 合計	算定	20,736,524	26,857,696	31,682,413	39,076,842	45,242,115		円
	実収入	20,414,660	26,752,696	31,546,417	38,971,842	45,137,115		円

支出の部		前指定末 (H27)	H28	H29	H30	R1	R2	
事業費		16,064,232	19,841,977	23,618,034	17,736,855	23,698,440		円
行事費		63,926	114,628	10,100	83,567	131,278		円
健康管理費、保険加入料		82,077	32,497	48,918	945,708	1,569,500		円
受注開発費		0	0	0	0	0		円
その他		2,984,655	4,162,892	3,941,183	4,591,590	10,579,493		円
支出の部 合計		19,194,890	24,151,994	27,618,235	23,357,720	35,978,711		円

収支差引	算定	1,541,634	2,705,702	4,064,178	15,719,122	9,263,404		円
	実収支	1,219,770	2,600,702	3,928,182	15,614,122	9,158,404		円

指定管理者自己評価 ※平成24年度分より追加

コスト削減に対する取組み	前指定末 (H27)	不要な照明・パソコン等電子機器のこまめな消灯、冷・暖房の設定温度の調整、給湯器のこまめな停止、車輛使用に伴うエコドライブの徹底
	H28	不要な照明・パソコン等電子機器のこまめな消灯、冷・暖房の設定温度の調整、給湯器のこまめな停止、車輛使用に伴うエコドライブの徹底
	H29	不要な照明・パソコン等電子機器のこまめな消灯、冷・暖房の設定温度の調整、給湯器のこまめな停止、車輛使用に伴うエコドライブの徹底
	H30	不要な照明・パソコン等電子機器のこまめな消灯、冷・暖房の設定温度の調整、給湯器のこまめな停止、車輛使用に伴うエコドライブの徹底
	R1	不要な照明・パソコン等電子機器のこまめな消灯、冷・暖房の設定温度の調整、給湯器のこまめな停止、車輛使用に伴うエコドライブの徹底

アウトカム指標（施設・事業がもたらす効用等）

利用者の利便性改善	前指定末(H27)	前年度から引き続き瑞穂町就労支援センターと連携関係は良好である。更に利用者のQOLを重視し医療機関、瑞穂町社会福祉協議会、瑞穂町地域活動支援センターと情報交換を行っている。作業所内の清掃や備品整備を積極的に行い、居心地の良い環境づくりに努めた。	
	H28	地域活動支援センター及び就労支援センター、社会福祉協議会と情報交換など連携を密におこなってきた。さらに障がい特性を考慮した利用の仕方なども改善したことで利用者の増員につながった。また、作業しやすく居心地良い環境整備にも努めてきた。	
	H29	瑞穂町障害者就労支援センター他、入間市障害者相談・就労支援センターや青梅ハローワークとの連携を強化した。また財団法人東京しごと財団などの関係機関により就労実習から就労への道筋ができた。	
	H30	瑞穂町障害者就労支援センター他、入間市障害者相談・就労支援センターや青梅ハローワークと連携。また財団法人東京しごと財団などの関係機関により就労実習から就労への道筋ができています。また、新作業場に扇風機を設置したり、水分補給のためのジャグを設置するなど利用者の体調管理に配慮した。	
	R1	瑞穂町障害者就労支援センターと連携。就労実習から就労への道筋ができています。また、冬季の新作業場に野外暖房器具、夏季には扇風機や水分補給のためのジャグ、日よけ用テントを設置するなど利用者の体調管理に配慮した。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、消毒、手洗い、マスクの着用を徹底した。	
プログラム等質の改善	前指定末(H27)	出来ないことを出来るようにする訓練型から得意なことをより高めることによって苦手なことにも取り組む意欲を培う主体型のプログラムへとシフトし始めている。	
	H28	利用者個人の特性及びニーズに添った作業提供ができるように12社9業種と取引をおこなってきた。それにより時に変動する利用者個々の体調なども考慮した作業提供していくことで自尊心が高められるように改善をした。	
	H29	他機関との連携によって就労プログラムが多種となり、プログラムの質の向上に繋がった。	
	H30	自主制作品（アクセサリーなど）の種類を増やすことによって独創性や主体性を引き出すことができ、プログラムの質の向上に繋がった。	
	R1	自主制作品（アクセサリーなど）の種類を増やすことや自主製品の企画によって独創性や主体性を引き出すことができ、プログラムの質の向上に繋がった	
利用者の満足度 (アンケート等客観的もの)	前指定末(H27)	多彩な就労訓練プログラムが選べるようになり、職種の幅も広がり就労に向けてのモチベーションの維持ができるようになってきている。また、自主製品（まき）の販売も事故品等の問題もなく評価を受けている。しいたけパック詰め作業を始め、今後、製品デリバリーも行う予定である。	
	H28	利用者個人の思いを尊重し生活リズム作り、やりがいや達成感を感じていただいている。さらにいつでも相談できる体制及び対応していくことで将来についても安心して取り組んでいただいている。他の利用者との交流も広がりコミュニケーションと働く楽しさへつながっている。	
	H29	従来の就労訓練プログラムに加えアクセサリーの自主制作に着手し、職員と利用者のコミュニケーションが深まり、地域へのイベントの参加意欲向上がみられた。平成29年度実施した第三者評価機関による利用者調査での総合的な満足度は、「大変満足」4人（25.0%）と「満足」8人（50.0%）の合計が75%であった。	
	H30	昨年度より取り組んだ地域へのイベントの参加を更に推進し地域イベントの参加回数を増やした。平成29年度実施した第三者評価機関による利用者調査での総合的な満足度は、「大変満足」4人（25.0%）と「満足」8人（50.0%）の合計が75%であった。	
	R1	昨年度より取り組んだ地域へのイベントの参加を更に推進し地域イベントの参加回数を増やした。平成29年度実施した第三者評価機関による利用者調査での総合的な満足度は、「大変満足」4人（25.0%）と「満足」8人（50.0%）の合計が75%であった。令和2年度第三者評価実施予定。	
安全管理等 ※平成24年度より追加	前指定末(H27)	事故・苦情対応	損害保険等の加入 苦情相談窓口の掲示
		事故防止策	作業前器具点検 当日の作業事項と注意喚起
		避難訓練等	総合訓練（年一回） 地域参加訓練及び部分訓練
	H28	事故・苦情対応	損害保険等の加入 苦情相談窓口の掲示
		事故防止策	作業前器具点検 当日の作業事項と注意喚起
		避難訓練等	総合訓練（年一回） 地域参加訓練及び部分訓練
	H29	事故・苦情対応	損害保険等の加入 苦情相談窓口の掲示
		事故防止策	作業前器具点検 当日の作業事項と注意喚起
		避難訓練等	総合訓練（年一回） 地域参加訓練及び部分訓練
	H30	事故・苦情対応	損害保険等の加入、 苦情相談窓口の掲示
		事故防止策	作業前器具点検・安全十訓等の掲示、 当日の作業事項と注意喚起
		避難訓練等	総合訓練（年一回）、 地域参加訓練及び部分訓練、町主催防犯講習会参加、救命講習参加
	R1	事故・苦情対応	損害保険等の加入、 苦情相談窓口の掲示
		事故防止策	作業前器具点検・安全十訓等の掲示、 当日の作業事項と注意喚起
		避難訓練等	総合訓練（年一回）、 地域参加訓練及び部分訓練、町主催防犯講習会参加、救命講習参加

その他

		前指定末 (H27)	H28	H29	H30	R1	R2	
建設経費（元利返還費用）	建設費	32,907,000	32,907,000	32,907,000	32,907,000	32,907,000		円
	償還利息	0	0	0	0	0		円
利用者1人あたりの経費 （指定管理料等及び指定管理料等+建設経費）	利用者数（延べ）	1,931	2,518	2,808	2,430	2,922		人/年間
	管理経費または指定管理料等	2,986,864	2,770,000	3,400,996	2,770,000	2,770,000		円
	管理経費または指定管理料等/人	1,547	1,100	1,211	1,140	948		円/人
	（管理経費または指定管理料+建設費）/人	18,588	14,169	12,930	14,682	12,210		円/人
修繕費（協定等に基づく指定管理者負担上限額：20万円/年）	指定管理者が行なった修繕	件数	0	2	1	0	1	件
		金額	0	25,920	18,500	0	14,155	円
		内容	0	PC修理代	物置床修繕	0	物置修繕	
	町が行なった修繕	件数	0	0	2	0	0	件
		金額	0	0	1,019,471	0	0	円
		内容	0	0	非常通報装置設置 防犯カメラ設置	0	0	
立ち入り検査状況								
違法検査 ・法で定められている場合、回数を記載。 ・それ以外の場合、法定外と記載。また、施設独自で同様の検査・指導を受けている場合は、その旨を記載。	消防法設備点検 （法定年2回）	法定外	法定外	法定外	法定外	法定外		
	冷暖房設備 （法定1回）	法定外	法定外	法定外	法定外	法定外		

総括

		H28	H29	H30	R1	R2	
経費比較 （指定前と指定後） ※実経費では、「職員の投入実態」及び「物品の提供実態」を除外	算定	指定後	2,770,000	3,400,996	2,770,000	2,770,000	円
		前指定末（H27）	2,986,864	2,986,864	2,986,864	2,986,864	円
		比較	-216,864	414,132	-216,864	-216,864	円
	実経費	指定後	2,665,000	3,265,000	2,665,000	2,665,000	円
		前指定末（H27）	2,665,000	2,665,000	2,665,000	2,665,000	円
		比較	0	600,000	0	0	円
評価	前指定末（平成27年度）						
1次評価 担当課	利用者の障がいの実態を把握するため、通所開始時に主治医から意見書を得、利用者の状態にあった支援をしている。また、ハローワークや就労支援センターと連携して、求人票の見方、履歴書の書き方を学ぶ機会を持ち、ビジネスマナーや就活セミナーにも職員が同行して就労環境の把握に努めている。就職後1カ月は本人の希望により職員がジョブコーチとして就職先に同行し、利用者と同じ仕事をしながら定着できるように支援している。27年度は新たにしたいバック詰め作業を受注している。						
2次評価 指定管理者選定委員会	【主な効果】 通所開始時に利用者の障がいの実態を把握し、利用者の状態にあった支援をしている。ハローワークや就労支援センターと連携し、職員がジョブコーチとして就職先に同行するなど、定着につながる支援を行っている。 【主な指摘】 利用者の就労意欲の向上につながる取組や、利用者個々の特性に合ったプログラムの提供を行うなど、引き続き利用者目線に立った支援を望む。						
評価	平成28年度（1年度目）						
1次評価 担当課	作業所内だけでなく、実習先やハローワークへの職員の同行や、関係機関との連携強化に取り組んでいる。通所者の所外就労実体験も障がいの自立支援に大きな効果をもたらしている。今年度は、一般就労者1名が正社員として採用された。取引企業数を増やすことにも努めている。多様な作業の中から利用者にとって合ったものを選択できる環境を用意している。利用者も受け持つ作業が段階的に増えて（仕事の種類、仕事の量）いくことで、多くの作業スキルが習得できることで意欲と就労へのイメージを高めている。						
2次評価 指定管理者選定委員会	【主な効果】 作業所内だけでなく、実習先やハローワークへの職員の同行、関係機関との連携強化に取り組んでいる。多様な作業の中から利用者にとって合ったものを選択できる環境、通所者の就労意欲と自立に大きな効果をもたらしている。 【主な指摘】 利用者の就労意欲の向上に努め、関係機関との連携と利用者個々の特性に合った就労訓練プログラムの継続を希望する。						

評価		平成29年度（2年度目）
1次評価 担当課		作業所内だけではなく、実習先やハローワークへの職員の同行や、関係機関との連携強化に取り組んでいる。通所者の所外就労実体験も障がい者の自立支援に大きな効果をもたらしている。多種の作業の中から利用者に合ったものを選択できる環境を用意し、多くの作業スキルが習得できることで就労への意欲とイメージを高めている。
2次評価 指定管理者選定委員会		【主な効果】 通所者の作業所以外での就労実体験や実習先、ハローワーク等への職員の同行等、関係機関との連携強化に取り組んでいる。作業の中から利用者に合ったものを選択できる環境を用意し、多くの作業スキルが習得できることで就労への意欲とイメージを高めている。 【主な指摘】 通所者が社会復帰しやすい環境づくりを行っていることは評価できる。今後も多種多様な就労プログラムの質の向上を期待する。
評価		平成30年度（3年度目）
1次評価 担当課		作業所内だけではなく、実習先やハローワークへの職員の同行や、関係機関との連携強化に取り組んでいる。通所者の所外就労実体験も障がい者の自立支援に大きな効果をもたらしている。多種の作業の中から利用者に合ったものを選択できる環境を用意し、多くの作業スキルが習得できることで就労への意欲とイメージを高めている。平成30年度、ころぼっくる通所者を正規職員として採用するなど、一般就労移行への取組みを行っている。
2次評価 指定管理者選定委員会		【主な効果】 作業所内だけではなく、実習先やハローワークへの職員の同行や、関係機関との連携強化、所外就労実体験も障がい者の自立支援に大きな効果をもたらしています。多種の作業の中から利用者に合ったものを選択できる環境を用意し、多くの作業スキルが習得できることで就労への意欲とイメージを高めています。 【主な指摘】 精神障がい者の自立支援に取り組む専門的姿勢は高く評価できます。これからも、多くの利用者が就労につながるような施設運営と更なる利便性・就労プログラムの質の向上に期待します。
評価		令和元年度（4年度目）
1次評価 担当課		作業所内だけではなく、実習先やハローワークへの職員の同行や、関係機関との連携に取り組んでいる。通所者の所外就労実体験も障がい者の自立支援に大きな効果をもたらしている。多種の作業の中から利用者に合ったものを選択できることや、屋外作業時の利用者の環境を整えるための配慮を行っている。多種の作業を用意することで多くの作業スキルが習得でき、就労への意欲とイメージを高めている。
2次評価 指定管理者選定委員会		【主な効果】 作業所内だけではなく、実習先やハローワークへの職員の同行や、関係機関との連携に取り組んでいる。多種の作業を用意することで多くの作業スキルが習得でき、就労への意欲とイメージを高めている。 【主な指摘】 精神障がい者の自立支援に取り組む姿勢は高く評価できる。今後も、積極的な利用者の自立支援の取組に期待する。